

凡事徹底(偉大なる凡人たれ)

～ 相浦中学校 学校だより ～ 令和6年3月18日(月)文責:末川宗一郎

自ら学び 心豊かで たくましい生徒

感動の卒業式！続け1・2年生！



3月14日(木)、本校体育館にて、第77回卒業証書授与式が実施されました。もちろん、今回は入場制限なしで、保護者・来賓・在校生勢揃いの中で執り行われました。



ピリッと緊張した重みのある雰囲気の中にも、門出を祝う温かなような、それでいて別れが寂しいような、様々な空気が入れ混じった中での式でした。



それにしても、卒業生(3年生の)凛とした、一糸乱れぬ動きと返事・歌声、その先輩たちを、心を込めて送り出そうとする在校生(1・2年生)の姿は、「素晴らしい！」のひと言でした。中学生



でもここまでやれる。これは、この式だけのためだけでなく、これまで一日一日とみんなが積み上げてきた姿の結集でした。来賓の方々からも、「素晴らしかった。感動した。泣きそうになった。生徒の歌声に震えがきた。」など様々なお褒めの言葉をいただきました。佐世保市教育委員会の次長さんも、「胸がジーンとして、やっぱり学校っていいですね。1日でも早く学校に戻りたい。」とおっしゃっていました。



卒業生の皆さんと保護者の皆様、本当にご卒業おめでとうございます。次のステップの更なる飛躍をお祈りしています！また、ご来校並びにメッセージなどいただいた多くの皆様、誠にありがとうございました。君たちが積み上げてきた伝統は1・2年生がしっかりと受け継ぎます！



卒業式・式辞の内容です。

14日(木)の卒業式での式辞で、卒業生に向けて話した内容の骨子を掲載します。

朝の登校から、周りの人々へ挨拶を行い、横断歩道で止まっていた車に会釈をし、学校に入るときは校舎に向かって挨拶して校門をくぐり、相浦中の一日が始まります。また、受験時に、高校の校門をくぐる時にも、「お願いします！」と挨拶して入ったように、他の場所でも同じことができるみんなは、「凡事徹底」が体に染みついているのだと感心しました。

コロナ禍の中の制限ある中でも、できることを探し、こつこつと取り組んだことが、みんなの明るさや、積極的で前向きに物事をとらえることができる集団作りにつながったのだと思います。

困難にぶつかったとき、あなたは、きついことや、やれないことなど、マイナス面を探すタイプですか。それとも、困難な中、何ができるか、どうすればできるかを探すタイプですか。現代社会は「予測不能な時代」と言われ、それは予想外のことが起こったり、大きな変化があったり、常識が通用しなかったり、ということです。これは、時代の流れや変化が、あまりにも早く激しいからだと言われていています。この「予測不能な時代」に勝ち残っていくためには、これまで培ってきた「凡事徹底」に加え・・・

「コミュニケーション能力」・・・他人との気持ちを理解しあう。

「問題解決能力」・・・課題を一番良い方向へと話し合い導いていく。

「レジリエンス」・・・困難や苦境に陥った際に、気持ちを切り替えたり、発想を転換したりして乗り越える。

以上の三つが必要であると言われていています。

相浦中学校で学び、体に染み付いた「凡事徹底」に、この三つの要素を加え、これからの時代を勝ち抜き、急な変化・困難が訪れても、自分ができること・やれることを探し、プラス思考で活躍・飛躍してほしいと思います。

新しい世界での活躍を楽しみに期待しています。

予定：3月21日(木) 5校時下校

22日(金) 修了式・離任式

25日(月) 新入生物品販売